

開拓使

難破船舶費用償還方ノ儀別紙ノ通
米利堅合衆國政府ト結約批准相成以條
此旨相達候事

明治十四年八月二十九日

太政大臣三條實義



日本帝國ト米利堅合衆國ト俱ニ約ヲ締ヒ以テ
此國ノ船彼邦ノ海岸ニ於テ難破ノ際ニ當リテ
支出ス可キ一定ノ費用償還ノ法ヲ設ケン事ヲ
欲シ仍テ之カ爲メニ特約ヲ結ブトニ決意シ具
全權委員トシテ日本國

皇帝陛下ハ外務卿正四位親一等井上馨ヲ之ニ
任シ米利堅合衆國

大統領ハ閣下ニ駐劄セル合衆國特命全權公使
ジョーン・エー・ビンハムヲ之ニ任シ互ニ其委任狀
ヲ相示シ其式ノ善良適切ナルヲ認メラテ訂約ス
ル一左列ノ如シ

凡ソ風波ノ難ニ罹レル日本ノ窮民ヲ救ヒ之ニ

衣食シ之ニ旅費ヲ給シ若クハ溺者ノ遺骸ヲ收
得シ病者傷者ノ醫料ヲ償フノ力ナキハ之ニ醫
藥ノ資ヲ給シ若クハ死者埋葬等ノ爲メ合衆國
政府ニ於テ支出シタル諸費ハ宜シク日本政府
ヨリ之ヲ償還スヘシ又合衆國市民ノ難破ニ遭
遇シ日本政府ヨリ扶助ヲ受クル者アル時ニハ
合衆國政府宜シク上ト同様ノ手續ニ遵フヘ
シ
然レトモ日本政府ニ於テモ將テ合衆國政府ニ
於テモ難破船乃至其船中ノ貨物ヲ收回保存
スルニ方リテ支出シタル費用ニ至テハ之ヲ償
還スルノ責任ナカルヘシ凡テ這樣ノ費用ハ其
拾得シタル貨物ニ課シユレニ關係アル輩ヲシ

テ該貨物引取ノ上償還セラル者トス
日本政府ニ於テモ將テ合衆國政府ニ於テモ其
難破ノ地ニ出張セラル政府ノ官吏警察吏或
ハ地方吏ノ手當又ハ難民ヲ護送スル吏員ノ旅
費若クハ公信往復ノ費用ハ之ヲ取立サルヘシ
此類ノ費用ハ右官吏警察吏地方吏所屬ノ國ノ
政府ニ於テ負擔スルモノトス

此約書ハ正當ノ法式ニ從ヒ各自政府ニ於テ之
ヲ批准シ其批准ハ可成速ニ之ヲ華盛頓府ニ於
テ交換シ右交換後三十日ヲ越ヘ之ヲ各自ノ國
中ニ實施スル者トス

此約書ハ日本文及ヒ英文各二本ヲ作り右ノ證
據トシテ茲ニ兩國ノ全權委員各其名ヲ記シ印

ヲ鈐ス

東京ニ於テ

明治十三年五月十七日

西曆一千八百八十一年五月十七日

井上

馨

印

ジョーン・エー・ビンハム 印

天祐ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル
日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
日本國及ヒ米利堅合衆國雙方ノ全權
委員ヲ以テ明治十三年五月十七日東京
ニ於テ日本國ト米利堅合衆國トノ間ニ取
結セシ兩國ノ難破船及ヒ難民救助費用
償還ノ約書ヲ朕親ヲ閱覽セシニ能ク朕
力意ニ適シ更ニ間然スヘキナレ故ニ凡テ其
約書條款ニ掲クル本趣ハ朕茲ニ之レヲ
嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百四十年
明治十三年六月五日東京宮中ニ於テ親

ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名

大日本
國璽

奉勅 外務卿正四位勳一等升上暨

米利堅合衆國大統領ジェームス、エー、ガーフィールド此書ヲ見ル有衆ニ示ス米利堅合衆國及日本帝國ハ雙方ノ全權委員ヲシテ我教祖紀元千八百八十年五月十七日日本東京ニ於テ此國ノ船彼邦ノ海岸ニテ難破ノ際ニ當リテ支出スヘキ一定ノ費用償還ノ約書ヲ締結調印セシメタリ其約書ノ原文左ノ如シ

條約各款此間ニ記載ス

合衆國上院ハ去月廿三日ノ協議案ヲ以テ出席ノ上議員三分ノ二同意セリ前顯約書ノ批准ヲ勸告協同セリ是ヲ以テ米利堅合衆國大統領ジェームス、エー、ガーフィールドハ右ノ約

ヲ閱覽シ上院ノ勸告協同ニ隨テ爰ニ其各
條款ヲ批准認可ス

右ノ証據トシテ合衆國ノ印ヲ鈐セシム
教祖紀元千八百八十一年即合衆國獨立第百
五年四月七日華盛頓府ニ於テ親ラ各ヲ記ス

ジエームス、エー、ガーフィールド

奉大統領之命

國務卿ジエームス、デー、フレイン

内閣書
官局
令第一三三號

開拓使

別紙内務省上申北海道集治監建
築用地受取方ノ儀聞届候條地所引
渡方成規ノ通可取計此旨相達候事
明治十四年九月三日

太政大臣三條實美

